

KOBEMAG®製

高耐食めっき鋼管

神商鉄鋼販売株

フェンス・防護柵鋼管基礎に実績多数

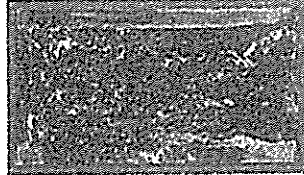
神商製鋼グループである神商鉄鋼販売株(伊藤勝美代表取締役社長、大阪本社・大阪市中央区北浜2-1-6・18淀屋橋スクエア)は、高い耐食性能を有した合金めっき鋼管・KOBEMAG(コベマグ)を使用した道路・橋梁関連の製品を多数販売しているが、特にフェンスや防護柵用などの基礎鋼管に使用する需要が高まっている。

その理由としては、最大の特徴である「優れた耐食性」にあり、平面部はマグネシウムを含む亜鉛、亜鉛-アルミニウム系保護被膜により、溶融亜鉛めっきに比べて格段の耐食

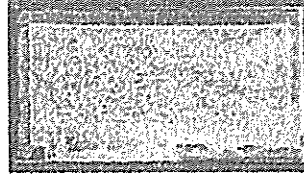
性を発揮、また、端面

部はめっき層から溶出したマグネシウムを含む緻密な亜鉛系被膜が端面部を覆うことにより優れた耐食性を持続させる。||比較写真を

■溶融亜鉛めっき



■KOBEMAG®



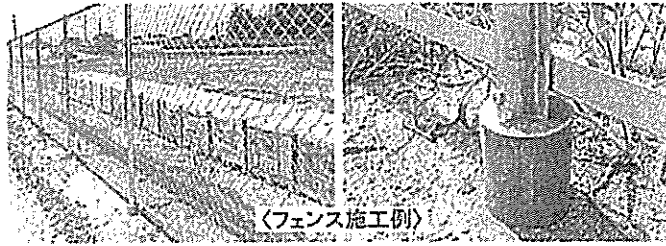
※塩水噴霧試験2500時間後の表面外観を比較(めっき付着量:90/90g/m² 無処理)

参照

さらに、「環境に優しくコスト削減」が図られるとしており、高い耐食性により後めっきが不要のほか、ライフサイクルコストを低減できるとしている。

KOBEMAGとは、亜鉛、アルミニウム6%、マグネシウム3%のめっき層を持つ溶融めっき鋼板で、溶融亜鉛めっき(HDZ 55:JIS H864 L)の6分の1程度のめっき付着量で同等以上の耐食性を示し、後めっきの代替候補となる防錆技術を示すデータを保有している。

同製品に関する問い合わせは、同社・九州



〈フェンス施工例〉

営業所、電話092-431-4901番、及び大阪本社・電話06-6206-7200番まで。http://shinosteel.co.jp